

令和2年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：行政学

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 行政学
2. 公共政策

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 行政学 出題分野名 行政学

**問題1** 日本の中央・地方関係は融合的であると言われてきたが、具体的にはどのような点が融合的であるのかを述べなさい。その上で、それがいかなる帰結や効果を生んできたかについて、考察を加えなさい。

**問題2** ギューリックに代表される古典的組織論の主たる内容を述べた上で、現在の日本の中央府省庁が、どの程度、古典的組織論によって説明できるかを述べなさい。説明ができない部分については、なぜ説明ができないのかについても述べなさい。

科目名 行政学 出題分野名 公共政策

---

**問題1** 公共政策を実施する上で利用可能な資源として、権限のほか、どのようなものがあるかを明らかにした上で、都市計画を具体的な例として、それらの資源がどのような形で用いられているか、述べなさい。

**問題2** 現代日本の財政政策について、政策の内容と、政策の形成過程のそれぞれについて、どのような特徴が見られるかを述べなさい。その上で、それらの特徴が何に起因するかについても明らかにしなさい。